



# 新型コロナウイルス 感染症関連情報

※掲載情報は3/18現在。最新の感染状況に注意し、北海道・札幌市からの協力要請に応じた対策に取り組んでください



## ワクチン接種に関する最新情報

2回目の接種から6カ月を迎える方に、順次3回目の接種券を送付しています。また、国の方針を受け、5歳～11歳の子どもも接種が可能となりました。接種で期待できる効果と副反応などのリスクの双方を考慮し、ご検討ください。手続きについては接種券に同封している案内文などをご確認を。

札幌市新型コロナウイルスワクチン接種  
お問い合わせセンター ☎351-8646(毎日9時～18時)

▶聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方は、市コールセンターのファクス221-4894(折り返しの連絡は担当部署から)

接種可能な医療機関など  
市のワクチン接種の最新情報

札幌市 ワクチンナビ

ワクチンナビ



ワクチンに関するよくある質問

厚労省 ワクチン QA

副反応に関する相談

北海道 ワクチン接種相談センター



## 自宅療養・自宅待機に備えて 食料や日用品のご用意を

自宅療養や濃厚接触による待機の備えとして、災害対策のように5日～7日分の食料や日用品の備蓄が重要です。自宅療養の際に希望する方には、申し込みから2日～3日で療養セットを届けていますが、感染者数や天候により配送が大幅に遅れることもあります。ネットスーパーや宅配(置き配)などの民間サービスの利用もご検討ください。

備蓄の例

- ・麺類やシリアルなどの主食
- ・解熱剤などの常備薬
- ・経口補水液、スポーツ飲料
- ・体温計、血液中の酸素濃度を測るパルスオキシメーター
- ・レトルト食品やインスタント食品
- ・トイレトペーパーなどの日用品
- ・果物などの缶詰、菓子類



## 発熱などの症状があるときは

ウェブ **WEB7119で適切な対応をチェック**

ホームページで質問に答えて、適切な対応や相談先を確認

WEB7119



ホームページが見られない場合は下記に相談

・かかりつけ医

事前に電話で陽性者との接触の有無を伝えて受診

・救急安心センターさっぽろ ☎#7119\*(毎日24時間)

※ダイヤル回線・一部IP電話からは☎272-7119。

☎0570-085-789(毎日9時～21時)でも相談可。救急安心センターさっぽろは、特に8時～10時は電話が混み合います

## 症状がない方の一般的な相談は

札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口

☎0570-085-789(毎日9時～21時)

※特に9時～10時は電話が混み合います

▶聴覚に障がいがあるなど電話が難しい方は、ファクス633-0746、Eメールkansen\_sogoannai@city.sapporo.jp

全日本ろうあ連盟 相談窓口



## 療養を終了した方の 陰性確認検査は不要です

新型コロナウイルス感染症と診断された方が療養期間を終了した場合、感染を広げる可能性は極めて低いことから、外出や職場復帰のために陰性であることを確認するための検査は必要はありません。会社などにおいては、療養を終えた方の職場復帰に当たって陰性確認を求めることのないようお願いします。